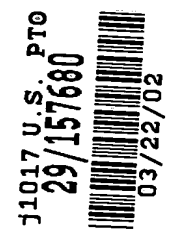


03/22/02



JC321 U.S. PTO

29157680-032202



【書類名】 意匠登録願  
【整理番号】 D01927-468  
【提出日】 平成13年 9月27日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【部分意匠】

【意匠に係る物品】 傘  
【意匠の創作をした者】

【住所又は居所】 福井県吉田郡松岡町松ヶ原1丁目404  
【氏名】 山口 公一

【意匠登録出願人】  
【識別番号】 393031140

【住所又は居所】 福井県吉田郡松岡町松ヶ原1丁目404  
【氏名又は名称】 山口 公一

【代理人】  
【識別番号】 100085246  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 岡本 清一郎  
【電話番号】 0776-21-8838

【手数料の表示】  
【予納台帳番号】 056579  
【納付金額】 16000

【提出物件の目録】  
【物件名】 図面 1

【意匠の説明】 実線で表された部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。 背面図、左側面図及び右側面図は、正面図と同一にあらわれるため省略する。本意匠は意匠法第6条第4項に該当するものであって、上軸柄内に下軸柄の上端側を挿入させて伸縮可能となされた軸柄の上端に、傘布を保持する傘骨が設けられており、該

傘骨の外周縁部分が、4分割されている。各分割部は、放射状に等角度ピッチで突出する4本の直線状骨のうち、隣り合う直線状骨の先端相互を、弾性湾曲部材で連結して構成されている。該弾性湾曲部材は、弾性復元作用を有する線材を湾曲して構成されており、その展開状態で見て、略中央で分離され、左右の湾曲片の先端相互が互いに逆方向に回動可能に連結されている。両者の連結部には、連結片を介して操作紐の端部が取り付けられており、該4本の操作紐は、巻取機構を示す参考図に示されるように、前記軸柄に内蔵された螺旋軸の上端に固設されてなるリールに巻き取り可能となされ、該螺旋軸は、前記下軸柄の上端に設けられたナット状操作部材の螺旋溝と螺合されている。下軸柄を上方向に移動させると、螺旋軸の回転に伴うリールの回転により前記操作紐が所要長さ巻き取られ、これにより4つの弾性湾曲部材が弾性的に巻込み変形せしめられ、その変形状態が保持される。逆に、上昇状態にある下軸柄を下方向に移動させると、前記螺旋軸の逆回転に伴う前記リールの逆回転によって各操作紐が巻き戻され、前記弾性湾曲部材が当初の展開状態に弾性的に戻るることができる。そして、前記弾性湾曲部材が展開状態において張った状態にある前記傘布は、弾性湾曲部材が巻込み変形することによって、外周縁部分がたるみ変形する。

20220908 032202